

シミュレーション医学教育の実行に必要なもの

シミュレーターというハードだけで成立する教育ではなく、学習者に気がつかせ、考えさせて学ばせる技法を身に着けた教育者と、その舞台に使うソフトが、機能的パッケージとなって有効に機能する。

(1) 人的資源

プロデューサー	(医学一般の知識、医学教育の見識、企画力を持つ人)
ファシリテーター	(医学の学習に特化したコーチング技術を持つ人)
インストラクター	(ファシリテーター能と、該当分野の医学知識を持つ人)
リソースパーソン	(該当分野の医学知識を、専門的に持つ人)

集団を一定の方向で動かす人、つまり企画力のあるひとが、キーパーソンとなる。その人は、教育の中身と、シミュレーション医学の教育原理を理解しているべき。

(2) 教育パッケージの中身として必要なソフト

運営マニュアル	大勢のスタッフが参加するため、運営の全体像を示す。
到達目標	コース終了時までには学んで置くべき内容の羅列
事前テスト	学ぶのに必要な基本知識を得てもらうのが目的 テスト内容は、事前に公表しておく
症例シナリオ	学ぶきっかけとなる、大まかな筋だけに留める。
ファシリテイトのポイント	何が大切か、を考えさせる虎の巻。 Guiding question など
事後評価	シミュレーションで求められる学習課題のチェックリスト 症例シナリオから派生して学ぶべき項目のチェックリスト 事後テスト ポートフォリオ (reflection を促す)
自己決定学習資料	症例シナリオから派生して学べる内容の概略説明 (教科書的)

メイン・イベントの症例シナリオだけではなく、その前後に使うソフトも大切。特に、事後の reflection が、大切。

(3) 教育パッケージの中身として必要なハード

シミュレーター
AV機器

ハードは、大切であるが、必ずしも高価なものを必要としない。
AV機器は、家庭用で十分。